

- 中国・ロシア極東・東アジアとの貿易経済の拡充を図るため、サハリン石油・天然ガス開発プロジェクト石狩湾新港地域利用促進協議会(通称・スピック)を改組
- 企業立地促進法に基づき設置された札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会の企業誘致活動経費の一部を負担
- 道内最大級のビジネスイベント”ビジネスEXPO“への市内企業の出展を支援し、情報交換を通じて、新たなビジネスチャンスを得る機会を提供
- 北海道中小企業総合振興資金のうち、市が指定する融資を受ける事業者に対して信

用保証協会保証料を補助

- 担い手の減少や高齢化、漁獲高の減少など、危機に直面している漁業の今後の振興計画を、2力年かけて策定
- 過剰な肥料の投入を抑制し、生産費の低減化を図るため、
- 農業者団体に対して土壌分析診断費用の一部を補助
- 観光パンフレットや”あいロード“ドライブマップの製作など、観光協会が主体となって実施する観光圏促進事業に補助

- 新たな住宅投資を誘発するため、「樽川平和地区」の道路・汚水・雨水の整備に着手

環境に配慮した地域づくりの推進

森林・風力・雪氷といった自然資源を生かし、市民との協働による、地球環境への貢献を進めます。

地道で息の長い取り組みが求められる環境対策については、まず「環境基本計画」の見直しに着手し、持続可能な地域社会の構築を目指します。さらに市民

が主体となって進める厚田区の「ふるさとの森」をまちぐるみの一大運動へと発展させるとともに、間伐による健全な森林を育成し、二酸化炭素(CO₂)吸収源の確

保を図ります。

また、雪氷冷熱の活用をはじめ、CO₂削減にも力を入れ、地域でできる地球環境への取り組みを推進します。

具体策

- 平成13年度に策定された「環境基本計画」について、旧2村との合併による社会変化を踏まえ、持続可能な地域社会を構築するため、22年度の改定に向け見直しを実施
- 市の間伐推進計画で定めた区域で間伐を行う森林所有者に対して補助金を交付し、間伐の促進を図ることで森林のCO₂吸収機能を強化

地域自治区の振興

厚田・浜益の素晴らしい資源を地域の活性化につなげる、各課題に取り組みます。

厚田区では、新年度から「海浜プール」と観光施設「あいロード夕日の丘」がオープン。これまでの「恋人の聖地」や「港朝市」と連動を図り、魅力ある観光事業を展開するとともに、特産品を活用した商品開発など、地



▲「あつたふるさとの森」で植栽する市民ボランティア

- 花川南・北、緑苑台、樽川、花畔の一部から排出される”燃やせるごみ“のうち、せん定枝葉などを収集し、堆肥などに再資源化する事業を5月から11月まで10回にわたって実施

域振興の取り組みを進めます。浜益区においては、地域の観光資源である「さくらんぼ」のブランド化や、全天候型観光を促進。さらに近く国の名勝指定が予想される名山「黄金山」の登山口までのアクセス道路を整備し、魅

問合せ

■市長政策室政策担当 ☎72-3644 ✉seisaku@city.ishikari.hokkaido.jp

■財政課 ☎72-3154 ✉zaisei@city.ishikari.hokkaido.jp

力ある観光地づくりを図ります。
また、個別排水処理施設の設置、さらに老朽化が著しい浜益浄水場の改修など、地域の課題に的確に対処します。

具体策

- 平成21年にオープンする厚田海浜プールの管理を、厚田観光施設指定管理者に委託
- 厚田区特産のジュースなどの商品開発に向けた取り組みを

支援するため、J A北いしかりが行う半自動打栓機キャップなどの導入にかかる費用の一部を補助

- 浜益区特産の「さくらんぼ」を栽培する果樹生産組合に対し、雨除けハウスの整備にかかる費用の一部を補助

- 地域住民唯一の公共交通機関を確保するため、札幌浜益線のバス運行を継続する事業者に対し、一部を補助

持続可能な 行財政基盤の確立

人口構成の変化に左右されない、安定的な公共サービスを実現するために、財政再建を含めた改革を進めます。

新年度も引き続き徹底した業務の見直しと、職員定数の適正化を図るとともに、土地開発公社や国民健康保険事業特別会計の整理に強い意志を持って取り組みます。

また、簡易水道事業と上水道事業の統合準備を進めるなど、将来も持続可能な経営の確立に向け、コスト削減や効率化の徹底を図ります。さらに必要な

公共サービスに見合う利用者負担のあり方についても、広範な議論を展開していきます。

具体策

- 入札制度の競争性、透明性、さらには入札参加機会の拡大、移動コストの縮減、事務の効率化を図るため、10月1日より電子入札を導入

おわりに

先行きの見えない経済危機を迎えている今だからこそ、冷静に情勢の変化を見極め、状況判断を誤ることなく難局に立ち向かわなければならぬと決意を新たにしています。

米国では、オバマ大統領の国民の可能性を信じ、ともに困難な道に立ち向かうという強いメッセージが多く共感を呼び、熱狂的な支持を得ました。本市でも市民参加・市民協働・行財政改革にいち早く取り組み、進むべき道筋は既に成果として可視化しており、こうした取り組みを支えてきたのは、紛れもなく6万1千人の石狩市民一人ひとりであります。

新年度も石狩市民の可能性を信じ、現在の厳しい状況を打開するため、二歩一歩着実に進んでまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力を心からお願いたします。



国民健康保険事業特別会計の健全化に向けて

国民健康保険事業特別会計の累積赤字額は、平成19年度末において約12億6千万円に達しており、市の財政を圧迫する要因の一つとなっています。

この課題を早期に解決するため、市民生活部に担当理事と国民健康保険課収納担当課長を配置し、重点的

に取り組みます。

収納率の向上、長期計画の策定や、健康推進室と連携して健康を維持するための対策を講じ、医療費を抑制することにより、国民健康保険事業特別会計の健全化を実現していきます。